

イベント開催時の分別ステーション設置について

1. 分別ステーション設置の目的

イベント会場に区分ごとのごみ箱と分別を補助する人を配置したブースを設けることで、イベント時に発生するごみの適正処理を促すとともに、エコイベントに関心を持ってもらうことで、来場者の環境意識向上を図る。

2. 分別ステーションキットの貸出について

市内で行われる各種イベントや町会の夏まつりなどにおいて、分別ステーションを設置しやすくするため、分別ステーションキットの貸出(無料)を開始している。

また、キットの貸出と合わせ、「弘前版エコイベントの手引き」を作成し、周知することで、イベント開催時の環境負荷低減を促している。

3. 実証実験について

分別ステーションキットの活用と実証実験を兼ね「弘前城秋の大祭典」会場内に設置スタッフとして、高校生ボランティア3名も従事

設置日時	9月19日(土)～22日(火) 4日間
分別区分	燃やせるごみ、割りばし、ペットボトル、ペットボトルキャップ、かん、プルタブ、びん
資源物回収量	ペットボトル 10 kg以上、かん 10kg未満、びん 10kg未満、割りばし 130 膳以上、ペットボトルキャップ 150 個以上、プルタブ 70 個以上
啓発ノベルティ配布	雑紙回収袋 400 枚、3 キリ啓発ポケットティッシュ 500 個、3 キリ啓発クリアファイル 500 枚
結果分析	<ul style="list-style-type: none"> ・まつりのごみは竹串などが多く、<u>資源物は比較的少ない</u> ・園内のごみ箱が溢れるような状況にはならなかった →<u>さくらまつりのごみは持ち込みの宴会ごみが多い</u> ・ステーションが見えていても、人のいないごみ箱へ持って行く傾向があった →<u>分別ステーションに慣れていない</u>(反対に分別ステーションを利用する人は分別にかなり協力的な印象) →ごみ箱の有無、設置数の多寡がステーション利用率に影響する

分別ステーション設置の様子



園内のごみ箱の様子

